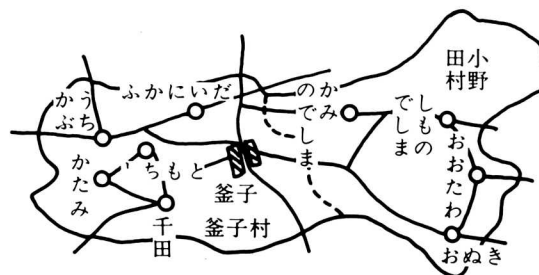


「小野田」という名は、明治22年（1889）に、小貫、上野出島、下野出島、大田輪の4つの村があわさって、小野田村となった時、それぞれのもとの村から名のいちぶをとってつけられたのです。

(3) 明治のはじめから今の東村になるまでのいきさつ

○明治元年（1868）には村が13ありました。

| | | |
|------|-------|-----|
| 釜子 | かざえもん | 新田 |
| 若栗 | 新田 | 千田 |
| 形見 | 深仁 | 井田 |
| 蕪内 | 小貫 | 大田輪 |
| 上野出島 | 下野出島 | |



○明治9年（1876）には大竹村が上野出島村にあわさって12か村になりました。

○明治10年（1877）にはかざえもん新田村、若栗新田村が釜子村にあわさったので10か村になりました。

○明治22年（1889）には、千田、形見、若栗、深仁井田の村が釜子村に、小貫、大田輪、上野出島、下野出島の村が小野田村として合併し、また蕪内村はとなりの五箇村に入ったため、2か村になりました。

○明治40年（1907）に蕪内は五箇村より分かれ、釜子村に入りました。

○昭和30年（1955）に釜子、小野田の2つの村があわさって、新しく東村が生まれたのです。

なお、小貫と大田輪地区はとなりの浅川町に入りました。